

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-1002	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:地域住民コホート調査又は三世帯コホート調査参加者全員 試料:なし 情報:基本情報、調査票情報、ゲノム配列情報	
主たる研究機関	東北大学医学系研究科			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	アトピー性皮膚炎の発症に関与する因子の探索			研究期間	2021年4月～2023年3月	
実施責任者	山本 雅之	所属	東北大学医学系研究科		職位	教授
研究目的と意義	アトピー性皮膚炎の発症に、環境化学物質を受けやすい生活環境が関係しているかどうかを解明します。また、環境化学物質に対する体の防御機構に遺伝的な個人差があるかどうかを解明します。					
研究計画概要	<p>1. アトピー性皮膚炎の発症に関わる生活環境の探索 過去の調査票の情報を用いて、ご本人やご家族の喫煙状況、ご職業、居住地域を調査し、アトピー性皮膚炎と関係しているかを解析します。</p> <p>2. 環境化学物質(排気ガスやタバコ煙)に対する防御機構の遺伝的な違いの解析 過去のゲノム配列情報を用いて、環境化学物質に対する体の防御機構に遺伝的な違い(一塩基多型)があるかどうかを解析します。</p>					
期待される成果	アトピー性皮膚炎との関連が強く示唆されるAHRおよびNRF2に焦点を当てることで、AHRやNRF2を活性化させる環境、遺伝因子がアトピー性皮膚炎とどのように相関するかについて明らかになることが期待されます。					
これまでの倫理 審査等の経過	2021年4月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーを遵守して研究を遂行します。 利用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行ったうえで、高度なセキュリティが担保されたスーパーコンピュータ内で利用します。					
その他特記事項	AMED受託研究費(革新的先端研究開発支援事業ステップタイプ(FORCE))					
* 公開日	令和3年5月12日					